

1. 本県周辺海域の概況(9/10現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・三陸北部沿岸域に冷水域が分布しています。一方で、金華山沖には暖水塊が分布して、そこから沿岸方向へ暖水が波及しています。また、常磐沿岸域にも冷水域が分布し、本県北部沖合下層域は強く影響を受けています。
- ・黒潮の流型はN型(直進流路)です。流路は犬吠埼沖を北東方向へ流れ、北緯36度30分、東経143度30分まで北上していると推測されます。

2. 海洋観測結果(9/7～9/10:ときわ)

- ・水温を図2～図5に、水温前月差を図6～図7に、平年偏差を図8～図9に示しました。
- ・北部海域や南部沿岸域で水温躍層(上下の水温差が大)が形成されました(図10, 11)。前月と比べると、沿岸域や南部沖合域で昇温し、北部沖合域では降温しました(図12, 13)。平年と比べると、沿岸域は大洗の水深20～50m付近で低めの他は概ね平年並み、沖合域は北部で低め、南部で高めとなりました(図14, 15)。
- ・沿岸域では真潮、逆潮の入り混じった複雑な流れで、沖合域は北東方向への強い流れでした。(図16)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮の流型はN型基調で推移しますが、伊豆諸島海域では蛇行が徐々に発達するでしょう。
- ・黒潮は犬吠埼以北の流路が安定的に推移すると見込まれるため、南部海域は黒潮の影響を強く受けるでしょう。また、金華山沖の暖水塊の沿岸域への影響が強まることで、冷水域が縮小し、本県北部海域への冷水の波及は徐々に弱まるでしょう。
- ・気温が高めで推移すると見込まれることから(気象庁)、上層と下層の間に水温躍層が形成されるでしょう。
- ・水温を平年と比べると、沿岸域は概ね「**平年並み～高め**」で推移するでしょう。

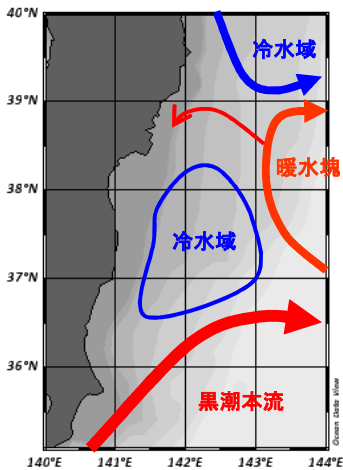


図1 海況の概要
(9月10日現在)

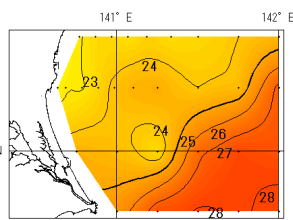


図2 海面水温(°C)

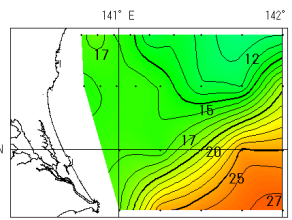


図3 50m深水温(°C)

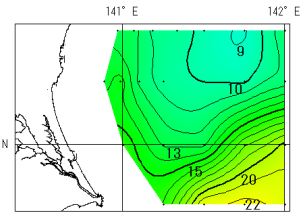


図4 100m深水温(°C)

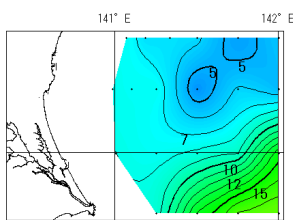


図5 200m深水温(°C)

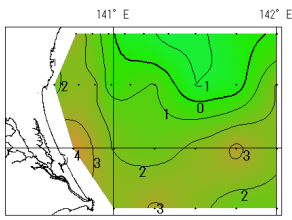


図6 海面水温前月差(°C)

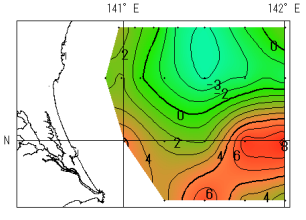


図7 100m深水温前月差(°C)

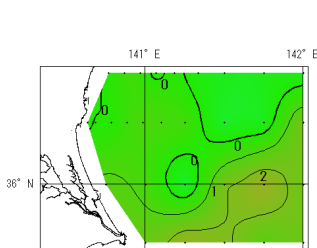


図8 海面水温偏差(°C)

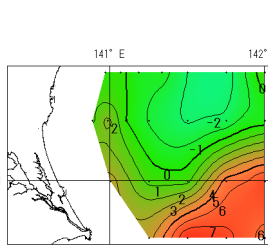


図9 100m深水温偏差(°C)

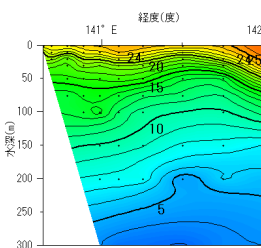


図10 大洗沖鉛直水温(°C)

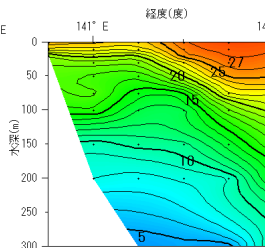


図11 鹿島沖鉛直水温(°C)

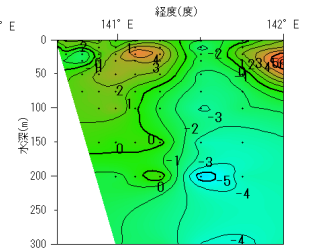


図12 大洗沖鉛直水温前月差(°C)

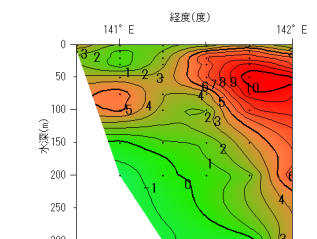


図13 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

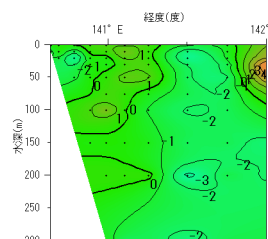


図14 大洗沖鉛直水温偏差(°C)

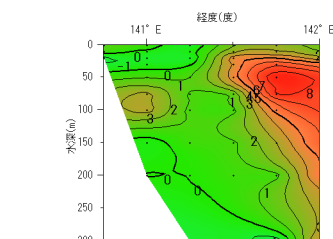


図15 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)

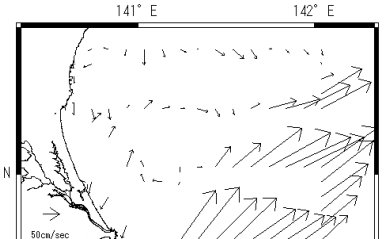


図16 水深10mの流向流速(ノット)